

白山神社 川崎市麻生区白山 4-3-1

白山神社（旧白山社）は、旧王禅寺（おうぜんじ）村真福寺谷の鎮守で、宝永（ほうえい）3年（1706）の王禅寺村絵図にその存在が書かれているので18世紀初めには創建されていたものと思われます。拝殿正面虹梁（こうりょう）のほぞに「『嘉永四年八月二十三日建之』棟梁（とうりょう）幸エ門 間松」の墨書棟札（ぼくしょむなふだ）が見つかり、嘉永4年（1851）に改築されたことを裏付けました。白山姫命を祀り、正面には千鳥破風（ちどりはふ）、向拝に軒唐破風（のきからはふ）をつけて飾り本殿の登り龍、下り龍の彫刻には金箔のあとがあり、虫歯を治す神として信仰されている。当本殿は彫物を多用した総檜（そうけやき）・素木（しらぎ）造りの小宮であり、彫物をはじめ細部に至るまで意を用いた質の高い建物で、白山神社本殿は平成8年（1996）1月25日、川崎市重要歴史記念物に指定された。



一の鳥居、二の鳥居、拝殿



足元や背中の子供が可愛い



拝殿の彫刻は見事



拝殿



参道途中に庚申塔